

# 国際商学部



こんな学びを志向する人に

- 🔍 企画立案する方法や起業する方法を学びたい
- 🔍 金融機関の活動や金融などの政策について学びたい
- 🔍 グローバル企業で活躍するための経営管理能力を身に付けたい
- 🔍 「経営学」と「経済学」を1年間学んでから深く追求する学問を決めたい
- 🔍 さまざまな専門職(公認会計士、税理士)を目指したい
- 🔍 民間企業から公務員まで、幅広く自分の可能性を広げる学びをしたい

## 国際商学部の特色

国際商学部は、経営学・経済学を中心とする学問的専門性に基づき、現実の国際的な労働・製品・金融市場の動向を踏まえた社会経済活動を学ぶと共に、国際商業都市・横浜という地域での学びを通して、既成概念にとらわれない課題発見力と企画立案力、そして実業界で役立つ確かな英語力を培います。また、文理融合的思考力を養い、数理的理窟力やデータ分析力等を生かした特色ある教育を行います。これらの教育を通して、グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力を備え、学問的専門性に裏付けられたマネジメントに関する高度な「実学」力により、実業界や公的組織で活躍する幅広い職業人を養成します。

特色  
1

### 『英語で学ぶ専門科目で ビジネスに強い英語力を強化』

皆さんが大学を卒業する頃には、会議での公用語が英語となっている企業は増えている事でしょう。そうでもないとしても、仕事で英語を使用する機会は確実に増えています。つまり、グローバル企業で活躍するために欠かせないのは、コミュニケーションのための英語力だけでなく、仕事に生かせる実践的な英語力だと考えます。そこで、国際商学部では、英語による専門科目（Global Business Strategy、Advanced Topics in Economics、Introductory Accounting等）を多数学ぶ事ができます。たとえば、Introductory Accounting Iを2年次前期に学修してもらうために、1年次に簿記入門を事前に日本語で学修できるように計画されているので、英語での専門科目の学修も無理なく進める事ができます。

特色  
2

### 『海外で実践力を養う、海外インターンシップ』

グローバル企業は世界各国に支社や事業所を開設しています。日本企業もこれら急速に世界中の都市に進出していく事でしょう。つまり、近い将来、「企業で働く」という事は国内だけでなく海外をフィールドとして活躍する事を意味するのです。そこで、国際商学部ではこれからのビジネスには欠かすことのできないグローバルな視点と経営管理能力を入学後の早い段階から意識し、確実に獲得してもらいため、また、在学中に海外で働く事を体験してもらいたいという想いから、海外企業等へのインターンシップに参加する機会を提供していきます。たとえば、本学卒業生とのネットワークから、シンガポールにあるコニカミノルタビジネスソリューションズアジアでの実習が実現しています。

特色  
3

### 『データ分析、起業、医療経営等多様な専門性を育成』

ビジネスの世界、たとえば、新商品を開発し販売し収益を上げるまでには、どこに工場を建設するのか、原材料はどこから購入するのか、工場の作業員をどのように確保するのか、商品の広告費にいくらかけるのか、そして、商品の価格はいくらにするのか、その他、決断しなければならない課題がたくさんあります。こうした課題解決に経営学と経済学の知識は必須です。しかし、今ではこうした課題の解決に経営学や経済学以外の知識も必要となっています。そのひとつが膨大なデータを分析し数値化する能力です。また、経済成長が見込まれない社会で企業が発展していくためには、新事業を創り出す（起業する）ための企画立案力も必要となります。その他、人口が減少していく社会では医療に関する課題も山積しており、こうした諸課題に経営的な視点からの解決が強く求められています。そこで、国際商学部では、本学のデータサイエンス学部や医学部と連携し、「計量経済学」、「起業家人材論」、「医療イノベーション経営管理論」等特色ある科目を設け多様な専門性を育成します。

## Message from the Dean

「人と進んで交わり共に資質を高める」  
という理念のもと  
豊富な卒業生ネットワークを生かして、  
グローバル社会で活躍するための実学力を高める。

国際商学部長

大澤 正俊 Masatoshi Osawa

国際商学部は、1928年設立の横浜商業専門学校を開学の祖とし、1949年に新制大学（学校教育法に拠る大学）商学部として発足しました。その後、2005年から国際総合科学部（経営科学系）として、これまで、開国・開港の地である横浜にふさわしく、開放的で国際性・進取性に富む学風は受け継がれ、実践力の溢れる人材を多数輩出していました。現代社会は、グローバル化、ICT（情報通信技術）の急速な発展、少子高齢化による市場の縮小や労働人口の減少等が、想像以上のスピードで進んでいる状況です。これに伴い大きく変化しているビジネスの世界でも活躍できるリーダーを養成する事が、これから横浜市立大学の使命であると受け止め、2019年4月国際商学部を設置するに至りました。国際商学部でも「人と進んで交わり共に資質を高める」という開学当初からの理念のもと、精力的に実業界と関わるながら実学力（経営学・経済学の専門性に裏付けられたマネジメントに関する実践力）を養っていきます。そのため学外実習では、実業界で活躍している多くの卒業生とのネットワークと国際商業都市である「横浜」というフィールドを生かし、学問的な理論・知識に加え、実践力を高める教育を行い、実業界や公的機関等で活躍できる職業人の育成を目指します。



## 4年間の学びのイメージ

学部の特長	1年次	2年次	3年次	4年次
	国際商学部の入門科目を学び、基礎を固める	経営と経済の基礎理論を学び、2年次後期から専門ゼミに所属し、専門領域を決定する	経営と経済の応用科目からグローバル企業に必要な経営管理能力や企画立案力を学び、専門領域を深める	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する
共通	プレゼン 英語による専門科目（基礎）	演習 英語による専門科目（応用）		卒論演習
領域横断	海外留学・学外実習 前期には、海外留学・学外実習として、 ●海外サマーセミナー参加 ●海外企業インターンシップ等 積極的に海外体験を推奨する期間があります。	全学開放科目 教養ゼミ/基礎ゼミ	共通教養科目 Practical English	Advanced Practical English
			領域横断型人材育成プログラム	大学院科目の早期履修

## 実践で学ぶための海外体験や実習

1年次は国際商学部の入門科目を学び、2年次には経営・経済の基礎理論をしっかりと学びます。さらに、2年次の6月中旬から9月にかけて、海外企業インターンシップや短期留学等、積極的に海外での体験を積める期間を設けています。そして2年次後期になると専門ゼミに配属され、専門を深めていく事になります。また、国際商学部では、さまざまな企業や自治体と連携した「企画提案型実習」、医学部やデータサイエンス学部とも連携した「文理融合型実習」を設け、アクティブラーニングによる学びで実践的なテーマに挑戦します。

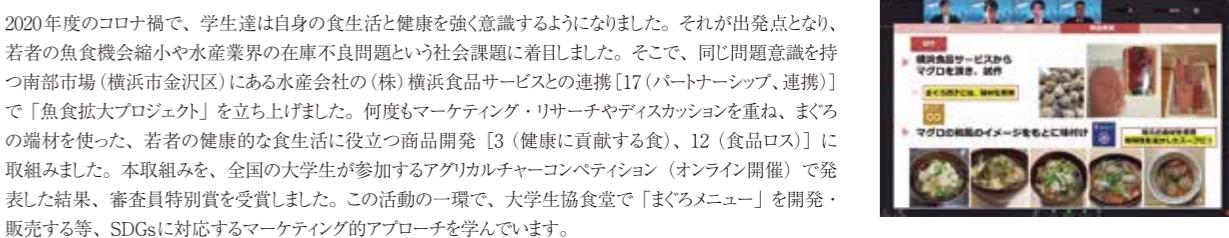
## 国際商学部専門科目一覧

専門科目	専門ゼミ	専門ゼミ	専門ゼミ	専門ゼミ	
治療イノベーション経営管理論 サービス・ビジネス論I サービス・ビジネス論II 公会計論 起業家人材論 起業プランニング論 医療経営論 Global Business Administration Global Business Strategy Global Organization Theory Japanese Industry Japanese Economy Global Leadership Global Service Management Global Human Resource Development Introductory Accounting I Introductory Accounting II Intermediate Accounting International Business Basics of Corporate Analysis and Valuation Global Innovation Management Global Marketing	Advanced Topics in Economics Introduction to IFRSs 民法・物権I 民法・物権II 民法・債権I 民法・債権II 環境法 財務諸表分析I 財務諸表分析II 経済統計I 経済統計II 経済政策I 経済政策II ミクロ経済学I ミクロ経済学II マクロ経済学I マクロ経済学II 行政法I 行政法II 国際金融論I 国際金融論II	金融論I 金融論II 計量経済学I 計量経済学II 経営財務論 財政学I 財政学II 公共経済学 地方自治論 コーポレート・ファイナンス ビジネスエコミクス 商業簿記I 商業簿記II 会計学原論I 会計学原論II 会計簿記 会計簿記II 監査論 監査論 多国籍企業論 国際会計論 マーケティング論 国際税務論 国際税務論 原価計算論 国際会計論	経営戦略論 マーケティングリサーチ 組織行動論 人的資源管理論 企業論 経営情報論 財務諸表論 公共政策 組織文化論 経営史 証券市場論 監査論 多国籍企業論 国際会計論 マーケティング論 国際税務論 生産管理論 リスクマネジメント論	中小企業論 税務会計論 消費者行動論 流通ビジネス論 情報の経済学I 情報の経済学II 経済数学 国際経済学I 国際経済学II ゲーム理論 公共政策 都市経済学 フィナンス理論 産業組織論 労働経済学 社会保険論 地理情報システム論 港湾都市論 資源経済学 環境経済学 経済成長論	景気循環論 金融システム論 公共選択論 地方財政学 租税法 ビジネス法務 手形小切手法 金融商品取引法 倒産法 サマープログラム インターンシップ実習 企画立案型実習A 企画立案型実習B 文理融合型実習A 文理融合型実習B

プレゼンA	演習I	演習II	演習III	卒論演習I	卒論演習II	卒業論文
-------	-----	------	-------	-------	--------	------



### マーケティング、消費者行動が専門の演習（柴田ゼミ）でSDGsに対応した商品開発



グローバル人材育成をモットーとする横浜市立大学では、  
さまざまな海外プログラムを用意しています。ここでは、2022年(※)より  
開始された「第2クオータープログラム」についてご紹介します。  
(※)オンラインプログラムとして2020年から、渡航プログラムとして2022年から実施

メリットの多い期間を利用する、新しい海外プログラムが誕生！

## 第2クオータープログラム

必修科目が配置されない2年次前期の後半(第2クオーター)の期間を利用して  
留学に挑戦できます。多種多様な渡航先から選択でき、短期間の渡航はもちろん、  
夏休みと組み合わせて長めのプログラムに参加することも可能です。



2021年度の募集実績を基にした内容です。次年度以降、プログラム内容は変更となる場合があります。

### 第2クオーターディープロラムのメリット

- \* 夏休みより長い期間で海外渡航が可能!
  - \* 日本人が少ない時期に海外渡航できる!
  - \* 豊富な渡航先のプログラム(学部授業、サマースクール、語学)  
から自分にあったものを選択することが可能!
  - \* 夏休みや春休みの時期に比べてフライトが安価なケースが多い!
- 対象 国際教養学部・国際商学部・理学部・DS学部学生 (2022年度)  
実施時期 2年次の6月～9月

#### 渡航先 (2022年度募集実績)

- ビクトリア大学(カナダ)
- チェンマイ大学(タイ)
- ド・モントフォート大学(英国)
- サンディエゴ州立大学(米国)
- ニューヨーク州立大学ストニーブルック校(アメリカ)
- 国立政治大学(台湾)
- 延世大学校(韓国)

※その他英語以外の外国語(フランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語・韓国語)  
の習得を目指す人向けのコースもあります。



## 第2クオータープログラム 海外インターンシップ

アメリカ、中国、東南アジアなど、海外の企業で実際に就業体験ができる、YCU独自のプログラムです。2年生の第2クオーターという大学生活の早い段階から海外で働く経験を積むことで、国内外問わず広いフィールドで活躍するために必要な国際感覚やリーダーシップ、語学力などを身に付けることができます。将来、海外へ積極的なビジネス展開を行うグローバル企業で活躍したいと考える方におすすめのプログラムです。実習形式(オンライン/渡航)は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、実習先企業との調整のうえ決定されます。

※海外インターンシップは2年生の第2クオーター以外の期間(8～9月、2～3月)にも参加できます。  
※詳しい内容については、グローバル推進室 またはキャリア支援センターにお問い合わせください。



## 教員紹介

Introduction of teachers

	芦澤 美智子 アシザワ ミチコ 准教授 起業家人材論 <i>Michiko Ashizawa</i>		柴田 典子 シバタ ノリコ 准教授 マーケティング論 <i>Noriko Shibata</i>		中村 祐太 ナカムラ ユウタ 准教授 ゲーム理論 <i>Yuta Nakamura</i>
	岩佐 朋子 イワサトモコ 准教授 ビジネスエコノミクス <i>Tomoko Iwasa</i>		白石 小百合 シライシ サユリ 教授 計量経済学 <i>Sayuri Shiraishi</i>		原 広司 ハラ コウジ 准教授 医療イノベーション経営管理論 <i>Koji Hara</i>
	大澤 正俊 オオサワ マサトシ 教授 民法・物権 <i>Masatoshi Osawa</i>		隨 清遠 ズイ セイエン 教授 金融論 <i>Qingyuan Sui</i>		藤崎 晴彦 フジサキ ハルヒコ 准教授 原価計算論 <i>Haruhiko Fujisaki</i>
	太田 墨 オオタ ルイ 教授 国際経済学 <i>Rui Ota</i>		高橋 隆幸 タカハシ タカユキ 教授 税務会計論 <i>Takayuki Takahashi</i>		三浦 敬 ミウラ タカシ 教授 会計学原論 <i>Takashi Miura</i>
	大塚 章弘 オオツカ アキヒロ 准教授 都市経済学 <i>Akihiro Otsuka</i>		張 櫻馨 チャン インシン 教授 国際会計論 <i>YingHsin CHANG</i>		安川 文朗 ヤスカワ フミアキ 教授 医療経営論 <i>Fumiaki Yasukawa</i>
	康 聖一 カン ソンイル 教授 情報の経済学 <i>Seongill KANG</i>		中條 祐介 ナカジョウ ユウスケ 教授 財務諸表分析 <i>Yusuke Nakajo</i>		山藤 竜太郎 ヤマフジ リュウタロウ 准教授 国際経営論 <i>Ryutaro Yamafuji</i>
	鞠 重鎬 クック ジュンホ 教授 財政学 <i>Joongho KOOK</i>		中園 善行 ナカゾノ ヨシユキ 准教授 マクロ経済学 <i>Yoshiyuki Nakazono</i>		吉永 崇史 ヨシナガ タカシ 教授 経営組織論 <i>Takashi Yoshinaga</i>
	黒木 淳 クロキ マコト 准教授 管理会計論 <i>Makoto Kuroki</i>		長畠 周史 ナガハタ シュウシ 准教授 会社法 <i>Shushi Nagahata</i>		和田 淳一郎 ワダ ジュンイチロウ 教授 公共経済学 <i>Junichiro Wada</i>
	小泉 大輔 コイズミ ダイスケ 准教授 人的資源管理論 <i>Daisuke Koizumi</i>		坂口 利裕 サカグチ トシヒロ 教授 社会工学 <i>Toshihiro Sakaguchi</i>		



松山 明寿香 (まつやま あすか)  
国際商学部 国際商学科 3年  
福井県立福井商業高等学校 卒業

# YCU Campus Life

## 受験生へのメッセージ

私は英語と経営を学びたいと思い、アットホームで教育の質が高いYCUを志望しました。総合型選抜では、自分の将来や学びたいことを具体的に大学でどのように学んでいくのか明確に伝えることを意識しました。また、面接ではどんな質問が来ても答えられるように、A4用紙13枚分に面接対策をまとめて本番に挑みました。難しいこと、悩むこともあると思いますが、強い意志を持って自分を信じて頑張ってほしいと思います。今は足りなくとも、努力次第で変わることはたくさんあると思います。  
楽しく頑張ってください!応援しています!!



## 1日のスケジュール

8:30		起きて大学にいく準備をします! 朝は苦手ですが、授業のために頑張ります!(笑)
10:00		大学に到着。 授業開始まで、課題をしながらおやつを食べたりします。
10:30		授業開始。起業家の方々からお話を聞くことができる授業もあり、ビジネスに対する情熱や面白いビジネスモデルも多く、とても楽しく学ぶことができます。
12:30		学食やキッチンカーでお昼。天気の良い日は外のベンチで食べます。 授業が同じ学部の友人や部活動のメンバーと一緒にです。
12:50		午後の授業が開始、お昼で眠くなりながらも頑張ります!(笑)
16:00		授業終了。アラバイトがない時は友人や部員と一緒に食事に行ったり、家で自炊したりして課題や趣味の時間にしています。

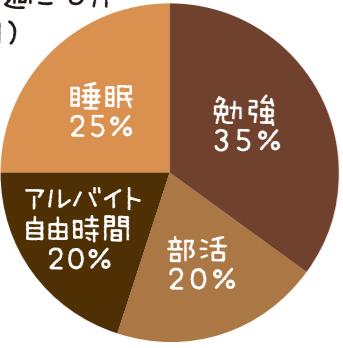
## 駒田 紳之介 (こまだ しんのすけ)

国際商学部 国際商学科 4年  
山梨県立甲府東高等学校 卒業

## 部活動について

剣道部に所属しています。週に3回程度活動していて、夏に開催される大会での入賞を目指し、日々の稽古に励んでいます。家族のような暖かい雰囲気です。

## 1日の過ごし方 (平日)



## 就職活動について

起業や公務員、企業への就職など沢山の可能性があります。  
また、学校の規模が大きすぎないからこそ、実際にその道で活躍しているOBOGの先輩方とのつながりは強く、沢山の支援を受けられます。

## おすすめスポット

図書館(学術情報センター)  
静かで資料が多くあり、集中して学習に取り組むことができます。テスト前はよくここで勉強しています。

## 卒業後の主な進路

■製造業  
株式会社クボタ  
住友重機械工業株式会社  
日本電気株式会社（NEC）  
富士電機株式会社  
富士通株式会社  
住友電気工業株式会社  
パナソニック株式会社  
日本航空電子工業株式会社  
株式会社ロッテ  
アイリスオーヤマ株式会社  
ちふれホールディングス株式会社  
株式会社ディスク  
日立造船株式会社  
積水化学工業株式会社  
キヤノン株式会社  
■金融・保険業  
東洋証券株式会社  
みずほ証券株式会社  
株式会社日本政策金融公庫

かながわ信用金庫  
三井UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
三井不動産リアルティ株式会社  
■広告・コンサルティング・専門サービス業  
エン・ジャパン株式会社  
UUUM株式会社  
アドコ株式会社  
JFE商事株式会社  
伊藤忠食品株式会社  
任天堂販売株式会社  
アーネスト・ガーディアン株式会社  
リコージャパン株式会社  
株式会社マネジメントソリューションズ  
株式会社船井総合研究所  
株式会社ゆうちょ銀行  
株式会社三井住友銀行  
楽天証券株式会社  
株式会社横浜銀行  
株式会社日本生命保険  
株式会社大和証券グループ本社  
株式会社日本政策金融公庫

茨城県庁  
■商社・卸売・小売業  
JFE商事株式会社  
伊藤忠食品株式会社  
任天堂販売株式会社  
アドコ株式会社  
リコージャパン株式会社  
株式会社マネジメントソリューションズ  
株式会社船井総合研究所  
株式会社ゆうちょ銀行  
■公務員・教員・特殊法人  
川崎市役所  
神奈川県庁  
東京国税局  
仙台市役所  
国土交通省  
東京消防庁  
千代田区役所  
日揮ホールディングス株式会社  
株式会社大和組  
鹿島建設株式会社  
株式会社竹中工務店  
横浜新都市センター株式会社

株式会社朝日新聞社  
ラクスル株式会社  
株式会社バンダイナムコエンターテインメント  
■その他  
四国電力株式会社  
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
凸版印刷株式会社  
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント  
株式会社住友倉庫  
■情報通信業・マスコミ  
株式会社電通デジタル  
ソフトバンク株式会社  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
TIS株式会社  
シンプレクス株式会社  
株式会社日立システムズ  
楽天株式会社  
NTTデータシステム技術株式会社  
株式会社オービック

## 1週間のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
AM 授業	授業	キャリアの勉強 授業	木曜 アルバイト (授業なし)	授業	授業	都内で キャリアの 勉強
PM ゼミ 友達とご飯	授業と 部活の運営	アルバイト	アルバイト	アルバイト	部活動	都内で キャリアの 勉強

## 課外活動

「三浦半島研究会」という部活動で部長をしています。  
地域でイベントの開催やフィールドワークを行っており、地域の方や大人と関わる機会が多く、楽しく三浦半島のことを知ることができます。イベントの企画などを通して、プロジェクトに対するやりがいや楽しさを感じることができ、仲間とやり切れる経験は一生懸命になると思っています。部活動を通して写真にも興味を持ち、趣味として自分のカメラを使ってます!!



部員と朝日を見にドライブに行った時に写真を撮っているところ



金八景駅前でのイベントの写真

## 国際マネジメント研究科(大学院)

### グローバル経済に対応したカリキュラムとサービス・サイエンス研究プログラムの提供

グローバル化が進む企業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。この目標を達成するため、博士前期課程では履修科目群を「基礎科目群」と「応用科目群」で構成し、段階的に専門知識を身に付けていく体制を整えると共に、特定の指導教員による2年間の研究を通して、問題発見、問題解決、プレゼンテーション等の能力の向上を支援します。経営管理手法を用いて社会課題解決をめざす学生を対象として、経営学・経済学の知識やスキルの習得を目指すソーシャル・イノベーション社会人MBAプログラム(SIMBA)も、本研究科の特色です。所定のプログラム対象科目を一定単位以上取得した場合、本研究科により、ソーシャル・イノベーション研究プログラム修了者として認定しています。

## 5年一貫プログラム

学部4年次から大学院科目を履修することにより、通常は2年間の在籍が必要なところ、1年間で修了(修士の学位を取得)できる制度です。



## 大学院の学びをひと足先に体験!!

### 松本 美桜 (まつもと みお)

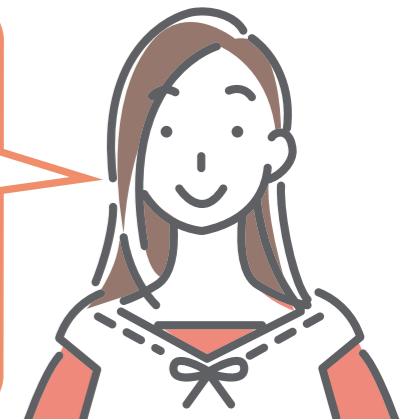
国際マネジメント研究科 博士前期課程2年  
愛知県立知立東高等学校 卒業 横浜市立大学 国際総合科学部 卒業

私は学部3年次の時、ゼミ活動のビジネスコンテストに力を入れていました。それまでは、マーケティング・リサーチ～戦略策定までを実習していましたが、コンテストでは実際に企業の方の前でプレゼンを行い、審査をしていただきました。マーケティング・リサーチでは、街頭調査や現地訪問など地道な努力を重ね、人について考えて企画をする面白さやアウトプットの成果に対する喜びなどマーケティングの楽しさを実感し、とても充実した学生生活でした。

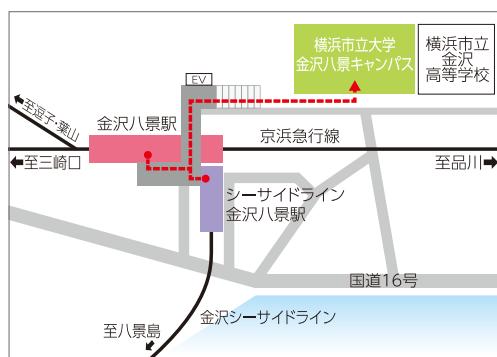
そして4年次に、価値観が行動に与える影響に興味を持ち、時間をかけて研究するために大学院への進学を決めました。現在の研究テーマは、「日本におけるSDGsの普及に対する、生活者の価値観と知識の影響」です。生活者の価値観や知識に着目し、SDGsの普及に対する影響力を研究しています。夏休みには仮説検証を行なう予定です。

国際マネジメント研究科は、先生との距離が近く質問がしやすいので、疑問がきちんと解決できます。研究を進めていくと視野が狭くなりがちですが、先生方からも研究や今後のアドバイスを頂くことがあります。とても心強いです。

※学生の所属は2018年度以前入学の学部名となっています。



## 横浜市立大学へのアクセス



- 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
- シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

YCU  
横浜市立大学  
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

[www.yokohama-cu.ac.jp/admissions/](http://www.yokohama-cu.ac.jp/admissions/)

## 横浜市立大学 国際商学部

[お問い合わせ] アドミッションズセンター

〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2 TEL.045-787-2055 FAX.045-787-2057